

交配用すいか花粉について

「雌花は咲いたが、雄花が無く授粉ができない。」「雄花は咲いたけど、花粉が出ていない。」など、授粉で困っている人の話をよく聞きます。着果が流れると、蔓引き等、さらに余計な手間もかかります。また、三倍体のスイカを生産した場合、授粉用に二倍体のスイカも生産しなくてはなりません。オーレック社製の『交配用すいか花粉』は、必要な時に、圃場へ持っていき、筆で雌花に授粉することができます。真夏に収集した勢いのある花粉で着果・果形を安定させます。



「交配用すいか花粉」



着果させたい雌花に
確実に授粉



安定した収量と秀品率!!

保冷に関する注意事項

1. 「交配用すいか花粉」は、要冷凍です。使用直前まで冷凍庫で保管してください。
2. 畑へ持っていくときは、必要な袋数のみ保冷剤(200gを3個以上)と共にクーラーボックスへ入れ、冷凍状態を維持してください。
3. クーラーボックスはハウスの外の涼しいところに置き、アルミパックはハウス内で1袋ずつ開封して使用してください。露地では花粉が飛ばされないよう注意してください。
4. 「交配用すいか花粉」は、開封すると直ぐに使用できます。解凍は必要ありません。
5. 「交配用すいか花粉」を開封もしくは未開封で常温にさらすと、その時点から花粉の劣化が始まりますので、開封後は速やかに授粉して2時間以内に使い切るようにしてください。
6. 「交配用すいか花粉」は、使いきりです。開封後は残っても再冷凍しないでください。再冷凍した花粉は、劣化しておりますので着果不良や変形果の原因になります。
7. 保冷剤が柔らかくなり始めたら、保冷機能が失われつつあります。未使用の花粉は直ちに冷凍庫へ戻してください。
8. クーラーボックスから「交配用すいか花粉」を取り出し、薬包紙を開き瓶等に花粉を移し、筆で授粉してください。筆は、「ぺんてる Pentel XZBS1-0 画筆 ウマゲマル0号」を推奨。

1花あたりの授粉量について

1雌花あたりの授粉量の目安は、約0.5mgです。
60mgパックで約120回の授粉が目安です。



※雌花の大きさによっても授粉量は変わります。

商品名	容量	授粉目安回数
すいか花粉15	15mg	約30回
すいか花粉30	30mg	約60回
すいか花粉60	60mg	約120回
すいか花粉120	120mg	約240回



授粉に関する注意事項

1. 低温、曇天が続く環境下では、着果不良あるいは変形果の原因になります。最低気温15℃以上、最高気温27℃前後が理想です。
2. 授粉は、雌花開花後の午前中に行い、花粉管が十分伸びるよう適温を保ってください。
3. 開封後は、速やかに授粉を行います。授粉作業だけに集中し、芽かき等の作業は、授粉作業終了後に行ってください。
4. 授粉中は花粉が露や汗で濡れないよう注意してください。筆が水や蜜で濡れた場合は、筆を交換もしくはティッシュ等で水気を取り、乾かしてください。

勢いよく伸びる
花粉管

